

平成 30 年度

# 工 事 監 査 報 告 書

福祉センター設備改良工事（機械設備）

福 生 市 監 査 委 員

## 第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び第5項の規定による監査

## 第2 監査の対象

工事件名：福祉センター設備改良工事（機械設備）

所管部課：都市建設部施設公園課（工事施工課）

総務部契約管財課（契約担当課）

## 第3 監査の期間

平成30年11月15日から平成31年2月26日まで

[説明聴取及び実地検査日 平成31年1月16日]

## 第4 監査の方法

監査に当たっては、工事関係書類の審査、工事担当職員及び工事関係者からの聴き取り調査及び現地調査の方法により実施した。

なお、工事に係る技術的事項の調査に関しては、「一般社団法人 東京技術士会」に工事技術調査の業務を委託して実施した。

## 第5 監査の着眼点

工事の設計及び施工等が法令等に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかを主眼とし、次の点を監査の着眼点として実施した。

- 1 基本設計、実施設計は適正かつ合理的なものになっているか。
- 2 設計図書類（図面、仕様書）、積算は適正かつ合理的、経済的なものになっているか。
- 3 契約事務の手続が適正に行われているか。
- 4 施工及び施工管理は適切に行われているか。
- 5 工事監理、工事監督は適正に行われているか。

## 第6 工事の概要

- 1 工事件名 福祉センター設備改良工事（機械設備）
- 2 工事場所 福生市南田園二丁目13番地1

- |    |       |                        |    |
|----|-------|------------------------|----|
| 3  | 工事業種  | 空調工事                   |    |
| 4  | 工事内容  | 空調設備改良工事               | 1式 |
|    |       | 給排水衛生設備改良工事            | 1式 |
|    |       | 給湯設備改良工事               | 1式 |
|    |       | ガスマイクロコージェネレーション発電機新設  | 4基 |
| 5  | 工期    | 平成30年6月25日～平成31年12月20日 |    |
| 6  | 入札方法  | 制限付一般競争入札              |    |
| 7  | 請負金額  | 399,600,000円（消費税含む。）   |    |
| 8  | 請負業者  | 太平・八重洲特定建設工事共同企業体      |    |
| 9  | 設計者   | 株式会社 久慈設計 東京支社         |    |
| 10 | 工事監理者 | 同                      | 上  |

## 第7 監査の結果

監査の対象とした「福祉センター設備改良工事（機械設備）」の計画、設計、積算、契約、施工状況等について、書類審査、実地調査等により、各着眼点に基づき監査を行ったところ、おおむね適正に執行され、工事監理についても適切に実施されていると認められた。

なお、「東京技術士会」による「工事監査技術調査報告書」による技術的な視点を踏まえた所見は次のとおりである。

### 意見・要望等

#### 1 中庭室外機の防護について

地下1階の空調工事については、中庭に複数の室外機を新設することが予定され、設置予定箇所の基礎工事が進められている。

しかしながら、中庭は福祉まつりや福祉バザー等の行事において多くの市民が利用する機会があり、子供のいたずらやボール遊び等により設置した室外機が損傷する恐れがある。

本来、不特定多数の一般市民の利用が想定される場所に機械設備を設置すべきではないが、建物の構造上の理由により設置がやむを得ないのであれば、室外機の周囲に防護柵を設けるなどの対策を講じられたい。

## 2 施工体制台帳について

施工業者と二次下請や三次下請を含めた全ての下請業者との体制を記載している施工体制台帳を確認したところ、一部の書類が最新の内容ではなかった。

既存設備の改良工事は多くの下請業者が入れ替わり作業に入ることから、現場代理人は、現場で作業を行う全ての業者を把握し、指示系統を理解しておくためにも、施工体制台帳の内容を常に最新の状態にしておくよう習慣化されたい。

## 3 新規入場者調査票について

新規入場者調査票の元請業者確認欄への捺印又は署名の漏れが見受けられた。また、作業員の健康診断日について不明確な記載が見受けられた。

現場代理人は、下請業者が提出する書類の記載内容をよく確認し、確認欄への捺印又は署名を忘れずに行われたい。